

令和6年度版 印西市環境白書の作成にあたって



本市は、千葉県北西部に位置し、利根川・印旛沼・手賀沼をはじめとした豊かな水辺や昔の面影を残す里山に恵まれ、そこで育まれた多様な生態系など、美しい自然環境に恵まれた地域です。

同時に機能的・都市的利便性の高い千葉ニュータウン地域などでは、近代的で生活に即した街並みが形成されており、魅力あふれたまちでもあります。

こうした環境を受け継ぎ、未来へと引き継いでいくための環境保全の課題としては、里山環境の保全や生活排水対策、不法投棄対策、ごみの減量化・資源化など身近なものから、温室効果ガスの排出抑制や気候変動への適応などグローバルな視野での対策などが挙げられます。

そして、世界中でこうした環境保全活動に送られる目は、日々目まぐるしく変化しています。

本市では、令和4年3月に第3次印西市環境基本計画を策定し、将来環境像「みんなでつくる自然と暮らしが調和した快適でやさしいまちいんざい」の実現に向けて、自然環境・生活環境・循環型社会・脱炭素社会・人づくりの5つの分野ごとの環境施策を総合的に進めております。

また、2050年カーボンニュートラルを目指す国内外の動向を踏まえ、令和6年5月には「印西市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

本書「令和6年度版印西市環境白書」は、令和5年度における市の環境の現状や第3次印西市環境基本計画に基づく取組の進捗状況を取りまとめるとともに、印西市庁内エコプランの進行管理として、市の事務事業から排出される温室効果ガスの排出状況等を報告し、広く公表するものです。

将来環境像の実現に向けては、環境施策の充実を図ることはもとより、市民・事業者の皆様へ環境配慮行動を実践していただくことで、市民・事業者・行政が一体となり、環境負荷の低減と環境の保全に関する取組を推進していくことが重要です。

皆様におかれましては、本書を通じ、環境保全への興味や市を取り巻く現況、自らが取り組める試みを実施し、広くご共有いただくことで、本市の明るい未来を築く礎としていただければ幸いです。

令和7年3月 印西市長 藤代 健吾

令和6年度版 印西市環境白書 目次

はじめに

1 印西市環境白書作成の趣旨	1
2 印西市環境基本計画	2
3 環境指標の達成状況	4
4 環境の現状と課題	8

第1章 いんざい環境特集

特集 2024 省エネルギー設備・再生可能エネルギー設備	12
------------------------------	----

第2章 基本目標の進捗状況

基本目標1 豊かな自然の恵みを受け潤いと安らぎを感じられるまちづくり	
1-1 谷津と台地を中心とした里山の保全	16
1-2 生きものの生息・生育空間の保全	20
1-3 暮らしと自然のつながりの確保	23
基本目標2 安心して快適なずっと住み続けたいと思えるまちづくり	
2-1 良好な生活環境の保全	26
2-2 有害化学物質対策の推進	31
基本目標3 限りある資源を有効に活用した持続可能な美しいまちづくり	
3-1 不法投棄やポイ捨ての抑制・防止対策の推進	33
3-2 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進	35
基本目標4 カーボンニュートラルの実現に向けた地球環境にやさしいまちづくり	
4-1 温室効果ガスの排出抑制	38
4-2 気候変動への適応	42
4-3 市の率先行動の推進	43
基本目標5 パートナーシップを構築し協働で環境保全に取り組むまちづくり	
5-1 自ら学び行動する人づくりの推進	46
5-2 環境配慮行動の推進	49

第3章 印西市庁内エコプランの進捗状況

1 印西市庁内エコプランの概要	52
2 エネルギー等使用量及び温室効果ガス排出量	54
3 取組実施状況	60

資料編

1 環境に関するデータ	資- 1
2 環境施策進捗状況調査結果	資- 20
3 温室効果ガス排出量の算出方法	資- 46
4 用語解説	資- 50

この「令和6年度版 印西市環境白書」は、主に令和5（2023）年度の実績に基づき、作成しています。

